

## ホスピタリティAO入試

〈あじばこ〉内〈あじばこプラス〉に過去3年分の過去問題を掲載しています。

募集人員	経営学部 ホスピタリティ・マネジメント学科…53名									
求める学生像	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ホスピタリティ・ビジネスに深い興味・関心を持つ者</li> <li>2. 将来ホスピタリティ・ビジネスに従事したいという明確な目的意識を持つ者</li> <li>3. 学修意欲、探究心、チャレンジ精神、自発性、協調性のある者</li> <li>4. 人に接することが好きである者</li> </ol> <p>※なお、ここでいうホスピタリティ・ビジネスとは、ホテルビジネス、プライダルビジネス、フードサービスビジネス、トラベルビジネス、バスセンジャーサービスビジネス、スポーツビジネスをいう</p>									
出願資格	<p>●次のいずれかの条件に該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者、および令和7年3月までに卒業見込みの者</li> <li>(2)通常の課程による12年の学校教育を修了した者、および令和7年3月までに修了見込みの者</li> <li>(3)文部科学大臣が認定した在外教育施設の課程を修了した者、および令和7年3月までに修了見込みの者</li> </ol>									
選抜方法	<p>●1次審査 (1)理解カテスト(新聞記事の内容理解) 100点(60分) (2)書類審査 以上(1)(2)の総合評価により、合否を判定する</p> <p>●2次審査 1次審査合格者を対象として11月16日(土)・11月17日(日)両日審査する (1)面接(11月16日(土)：集団討論 11月17日(日)：集団面接)</p>									
出願期間	令和6年9月24日(火)～10月1日(火) ※出願書類の郵送は締切日消印有効									
入学検定料	32,000円(15～17ページを参照し、出願期間内に納入してください)									
試験日	<p>●1次審査 令和6年10月20日(日)</p> <p>●2次審査(1次審査合格者を対象) 令和6年11月16日(土)・11月17日(日)両日</p>									
試験時間割	<table border="1"> <tr> <td>〈1次審査〉10月20日(日)</td> <td>集合</td> <td>▶</td> <td>理解カテスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>9:15</td> <td></td> <td>9:30～10:30</td> </tr> </table> <p>※2次審査(11月16日・17日両日)の集合時間は1次審査合格者に直接連絡します</p>		〈1次審査〉10月20日(日)	集合	▶	理解カテスト		9:15		9:30～10:30
〈1次審査〉10月20日(日)	集合	▶	理解カテスト							
	9:15		9:30～10:30							
試験会場	本学(1次審査・2次審査とも)									
合格発表	<p>●1次審査 令和6年10月28日(月)(21ページ参照)</p> <p>●2次審査 令和6年11月26日(火)(21ページ参照) ※入学手続き期間は6ページを参照</p>									
出願書類										
ネット出願確認票	15～16ページを参照して、ネット出願登録後、必ず印刷をしてください。									
調査書	高等学校長が作成したものを提出してください。※必ず厳封されたものを提出してください。									
ホスピタリティAO入試・ホスピタリティ入試エッセイ記入用紙	「志望動機と将来設計」を1,000字以内で本人自筆で作成し、提出してください。(左記の出願書類名からダウンロードし、A4サイズの用紙に印刷したものを使用してください。全2枚)									

## ※注意事項

## 「入学者選抜における生成AIの取り扱い」

亜細亜大学における入学者選抜においては、志願者自身の考えやものの見方を重視して評価しています。このため、ChatGPT等に代表される生成AIに全面的に依拠して作成した書類は志願者自身のものとみなされず、評価の対象とならない場合があります。出願書類作成においては、この点に十分注意し、あなた自身の考えを大切に記述するようにしてください。

なお、一般に生成AIの利用について、亜細亜大学では、以下のように注意喚起を行っています。第一に、生成AIにより提供される文章の内容がすべて正しいとは限りません。第二に、生成AIの利用により、他者の著作権を侵害するおそれがあります。第三に、生成AIに入力した個人情報、蓄積され再利用される危険性もあります。

以上についても十分に留意してください。